

日本グリーン電力開発株式会社

“SAF原料となる規格外ココナッツ由来CCO工場建設- GHG削減効果/CORSIA認証取得及び原料トレーサビリティシステム構築の実証事業”

- ◆本社所在地：東京都 ◆東京証券取引所 非上場
- ◆設立年月日：1998年7月
- ◆事業内容：再生可能エネルギー発電所の開発・売電・保守運用、バイオマス燃料の製造・販売
- ◆PT. Green Power Palembangが共同で事業実施

事業計画

トレーサビリティシステムの構築、CORSIA認証（※）の取得を目指す

<概要>

- ・2025年4月から2028年3月にかけて事業実施

- ①規格外ココナッツを取扱うココナッツ原油工場を設立（2026年）
- ②原料トレーサビリティシステムおよび規格外ココナッツ判別作業の有効性を実証（2027年）
- ③温室効果ガスの削減効果を実証、CORSIA認証（※）取得を目指す（2027年）
- ④副産物（ヤシ殻）の製品化および製造工程で発生する可燃性ガスを利用した温室効果ガスの削減効果を実証（2027年）

※CORSIA：国際民間航空機関（ICAO）が温室効果ガス削減目標を設定しており、技術、運用改善、代替燃料（SAF）等での排出量削減を目標とし、その枠組みを定めるのが CORSIA。SAFやSAFの原料となるココナッツ原油の製造にあたっては、CORSIA認証を受ける必要がある。



<期待される効果>

- ・調達競争の激化が見込まれるSAF原料の調達リスク回避
- ・規格外ココナッツの安定販売を通じた現地生産者・販売者の所得向上